

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月5日

東

上場会社名 日本水産株式会社 上場取引所
 コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 的埜明世
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画IR部長 (氏名) 広井洋一郎 (TEL) 03-6206-7037
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	345,402	△1.4	11,077	4.9	12,138	1.6	7,829	13.1
2019年3月期第2四半期	350,483	5.8	10,560	△18.6	11,952	△9.9	6,919	△25.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,135百万円(△43.1%) 2019年3月期第2四半期 9,020百万円(△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	25.16	—
2019年3月期第2四半期	22.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	490,907	169,294	30.5
2019年3月期	477,913	166,158	30.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 149,908百万円 2019年3月期 146,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2020年3月期	—	4.00			
2020年3月期(予想)			—	4.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	△1.7	24,000	10.7	26,500	4.5	17,500	13.8	56.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	312,430,277株	2019年3月期	312,430,277株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,286,237株	2019年3月期	1,284,069株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	311,145,261株	2019年3月期2Q	311,405,537株

(注) 当社は、第104期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(期末自己株式数330,500株、期中平均株式数330,500株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は底堅く推移し雇用・所得環境の改善も続くなど緩やかに回復しましたが、輸出の弱さが見える中、消費税増税の影響などによる景気下振れリスクも懸念される先行き不透明な状況でした。

世界経済（連結対象期間1－6月）につきましては、米中貿易摩擦の長期化やEU諸国の政治動向、中東情勢の不安定化などが懸念され、引き続き不透明な状況が続きました。米国では個人消費は緩やかに増加したものの、設備投資の減少や輸出の伸び悩みが見られました。また、欧州では個人消費が景気を下支えし緩やかに回復しましたが、一部に弱い動きが見られるとともに、中国では景気は緩やかに減速しました。

当社および当社グループにつきましては、南米の鮭鱒養殖事業や国内の水産・食品事業を中心に堅調に推移しましたが、国内のチルド事業は苦戦しました。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は3,454億2百万円(前年同期比50億81百万円減)、営業利益は110億77百万円(前年同期比5億17百万円増)、経常利益は121億38百万円(前年同期比1億85百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億29百万円(前年同期比9億9百万円増)となりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2020年3月期 第2四半期	345,402	11,077	12,138	7,829
2019年3月期 第2四半期	350,483	10,560	11,952	6,919
前年同期増減	△5,081	517	185	909
前年同期比	98.6%	104.9%	101.6%	113.1%

(注) 2019年2月よりチルド事業の取引形態をセンターフィー（販売費）と売上高を相殺する価格決定方式に変更しており、前第2四半期累計期間の売上高にはセンターフィー5,034百万円が含まれております。

セグメント別の概況は次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期増減	前年同期比	営業利益	前年同期増減	前年同期比
水産事業	141,372	△747	99.5%	5,407	1,626	143.0%
食品事業	172,893	2,251	101.3%	6,875	△354	95.1%
ファイン事業	13,706	852	106.6%	1,187	21	101.9%
物流事業	8,394	28	100.3%	806	△118	87.2%
その他(注)	9,034	△7,466	54.8%	96	△519	15.7%
全社経費	—	—	—%	△3,296	△138	104.4%
合計	345,402	△5,081	98.6%	11,077	517	104.9%

(注) 「その他」：エンジニアリング（工場・設備機器の企画・設計・施工等）事業、船舶運航事業等。

(1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,413億72百万円(前年同期比7億47百万円減)となり、営業利益は54億7百万円(前年同期比16億26百万円増)となりました。

漁撈事業：前年同期比で減収、減益

【日本】

- ・さばなどの漁獲が低調に推移したことにより減収・減益となりました。

養殖事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

- ・鮭鱒は稚魚の生育不良などがあり苦戦しましたが、ぶりの販売数量の増加などもあり増収・増益となりました。

【南米】

- ・鮭鱒は一昨年の稚魚斃死の影響もなくなり販売数量が回復し、販売価格も堅調に推移したことにより増収・増益となりました。

加工・商事事業：前年同期比で減収、増益

【日本】

- ・鮭鱒やぶりの販売が順調に推移し増益となりました。

【北米】

- ・すりみやフィレの販売価格が堅調に推移し増収となりましたが、コスト増があり減益となりました。

【ヨーロッパ】

- ・為替の影響に加え、一部魚種の取扱数量の減少があり減収となりました。

(2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は1,728億93百万円(前年同期比22億51百万円増)となり、営業利益は68億75百万円(前年同期比3億54百万円減)となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

- ・冷凍野菜や業務用冷凍食品の販売が好調に推移し増収・増益となりました。

【北米】

- ・家庭用冷凍食品・業務用冷凍食品とも販売が好調に推移したことに加え、業務用冷凍食品の生産性が改善したことにより増収・増益となりました。

【ヨーロッパ】

- ・チルド商品の販売が堅調に推移し増収となりましたが、主として白身魚の原材料価格の上昇が影響し減益となりました。

チルド事業：前年同期比で減収、減益

【日本】

- ・取引形態変更(注1)に加え、天候不順による販売数量減少や新工場の減価償却費などのコスト増があり減収・減益となりました。

(3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料(注2)、機能性食品(注3)、および診断薬、医薬品などの生産・販売を行っております。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は137億6百万円(前年同期比8億52百万円増)となり、営業利益は11億87百万円(前年同期比21百万円増)となりました。

【医薬原料、機能性原料、機能性食品】

・機能性原料の販売が前年に続き国内外とも順調に推移しましたので増収・増益となりました。

【診断薬、医薬品】

・診断薬・医薬品の販売が堅調に推移し増収となりましたが、販売構成比の変化により原価率が上昇し減益となりました。

(4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

＜当第2四半期連結累計期間の概況＞

物流事業では売上高は83億94百万円(前年同期比28百万円増)となり、営業利益は8億6百万円(前年同期比1億18百万円減)となりました。

・事業は順調に推移したものの、第1四半期に一部のグループ会社において、退職給付債務の算定方法を簡便法から原則法に変更した影響などがあり減益となりました。

(注1) 2019年2月よりセンターフィー(販売費)と売上高を相殺する価格決定方式に変更。

(注2) サプリメントの原料や乳児用粉ミルク等に添加する素材として使用されるEPA・DHAなど。

(注3) 主に通信販売している特定保健用食品「イマークS」やEPA・DHAなどのサプリメント。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、及び純資産の状況

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、2,539億63百万円となりました。これは商品及び製品が80億69百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が32億36百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が39億39百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、2,369億44百万円となりました。これは有形固定資産が50億33百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、4,909億7百万円となり、ROAは3.5%となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.9%増加し、2,207億20百万円となりました。これは短期借入金が308億57百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が59億50百万円減少したこと、未払費用が44億90百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.5%減少し、1,008億92百万円となりました。これは長期借入金が82億0百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.2%増加し、3,216億12百万円となりました。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて31億36百万円増加し、1,692億94百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を78億29百万円計上したこと、為替換算調整勘定が25億68百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

各事業とも概ね順調に推移しておりますが、今後の水産事業や食品事業への為替のマイナス影響や北米・欧州での販売動向などを踏まえ、通期の売上高の予想につきましては、2019年5月14日に公表の数値を下記の通り修正致します。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	710,000	24,000	26,500	17,500	56.24円
今回発表予想（B）	700,000	24,000	26,500	17,500	56.24円
差額（B－A）	△10,000	－	－	－	－
差額率（％）	△1.4%	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	712,111	21,685	25,358	15,379	49.41円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,904	9,547
受取手形及び売掛金	88,753	84,814
商品及び製品	65,619	73,688
仕掛品	29,397	31,090
原材料及び貯蔵品	33,734	36,971
その他	21,578	18,128
貸倒引当金	△384	△277
流動資産合計	247,603	253,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	57,088	57,067
その他（純額）	80,437	85,491
有形固定資産合計	137,525	142,558
無形固定資産		
のれん	276	785
その他	10,427	10,018
無形固定資産合計	10,704	10,804
投資その他の資産		
投資有価証券	69,024	68,511
その他	17,997	19,873
貸倒引当金	△4,942	△4,803
投資その他の資産合計	82,080	83,581
固定資産合計	230,309	236,944
資産合計	477,913	490,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,424	43,474
短期借入金	104,078	134,936
未払法人税等	3,735	3,710
未払費用	27,459	22,969
引当金	3,545	3,368
その他	14,455	12,260
流動負債合計	202,699	220,720
固定負債		
長期借入金	86,979	78,778
引当金	109	120
退職給付に係る負債	11,789	11,395
その他	10,176	10,597
固定負債合計	109,054	100,892
負債合計	311,754	321,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,685	30,685
資本剰余金	21,757	21,749
利益剰余金	83,988	90,544
自己株式	△471	△473
株主資本合計	135,960	142,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,077	10,734
繰延ヘッジ損益	283	259
為替換算調整勘定	1,945	△622
退職給付に係る調整累計額	△2,941	△2,967
その他の包括利益累計額合計	10,365	7,402
非支配株主持分	19,832	19,386
純資産合計	166,158	169,294
負債純資産合計	477,913	490,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	350,483	345,402
売上原価	280,916	278,893
売上総利益	69,566	66,508
販売費及び一般管理費	59,006	55,431
営業利益	10,560	11,077
営業外収益		
受取利息	123	126
受取配当金	413	369
為替差益	468	—
持分法による投資利益	782	948
助成金収入	386	315
雑収入	173	279
営業外収益合計	2,349	2,039
営業外費用		
支払利息	904	791
為替差損	—	110
雑支出	53	77
営業外費用合計	957	978
経常利益	11,952	12,138
特別利益		
固定資産売却益	391	193
投資有価証券売却益	7	15
関係会社株式売却益	17	9
持分変動利益	—	11
特別利益合計	416	230
特別損失		
固定資産処分損	159	236
減損損失	137	—
投資有価証券評価損	—	128
工場移転損失	—	103
特別損失合計	297	468
税金等調整前四半期純利益	12,071	11,900
法人税、住民税及び事業税	3,627	3,598
法人税等調整額	1,175	239
法人税等合計	4,803	3,837
四半期純利益	7,268	8,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	348	233
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,919	7,829

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	7,268	8,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,203	△286
繰延ヘッジ損益	668	11
為替換算調整勘定	△1,765	△1,963
退職給付に係る調整額	△167	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,187	△664
その他の包括利益合計	1,751	△2,927
四半期包括利益	9,020	5,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,678	4,866
非支配株主に係る四半期包括利益	341	268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	142,120	170,642	12,853	8,365	333,982	16,500	350,483	—	350,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,661	1,739	242	4,426	14,070	1,093	15,164	△15,164	—
計	149,782	172,382	13,096	12,792	348,053	17,594	365,648	△15,164	350,483
セグメント利益	3,781	7,230	1,165	925	13,103	616	13,719	△3,158	10,560

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となる。

2. セグメント利益の調整額△3,158百万円には、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,179百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産事業セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては137百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	141,372	172,893	13,706	8,394	336,367	9,034	345,402	—	345,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,294	1,805	147	4,892	14,139	966	15,106	△15,106	—
計	148,666	174,699	13,853	13,286	350,507	10,001	360,508	△15,106	345,402
セグメント利益	5,407	6,875	1,187	806	14,277	96	14,374	△3,296	11,077

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となる。

2. セグメント利益の調整額△3,296百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,322百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの売上高及び利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、組織編成の見直しに伴い、従来「食品事業」セグメントに分類しておりました連結子会社の一部のセグメント区分を、「食品事業」及び「水産事業」セグメントの2区分に変更しております。

この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント売上高及びセグメント利益については、変更後の算定方法により作成しております。